

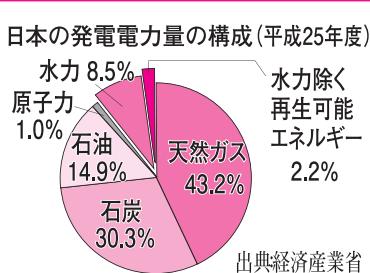
新緑のまぶしい初夏。太陽の光がさんさんと降り注ぐ季節となりました。

県内戸建て13軒に1軒が設置

再生エネルギーでエコライフ

広島県の 再生可能 エネルギー

① 普及が進む太陽光発電



広島県では、地域の優位性を生かした再生可能エネルギーとして、太陽光発電、木質バイオマス発電、小水力発電を中心とした重点分野として、普及拡大を図っています。次回からは、太陽光発電について、さらに詳しく紹介します。

1

2月7日、「脱温化福山中央地域協議会」が発足し、27番目のTEAMが誕生しました。これを記念して、3月21日、69名の参加を得て、環保協東部支所を会場に「脱温化福山中央地域協議会」が開催されました。



「脱温暖化福山中央地域協議会」誕生

5つのプロジェクトを計画

所を会場にキックオフ大会が開催されました。 「脱温暖化福山中央地域協議会」は、18学区からなる福山市公衛協中央ブロックと21学区からなる福山市食生活改善推進連絡協議会中央ブロックを中心に組織され、235名の個人会員

が参加しています。この中には、11名の地球温暖化防止活動推進員のほか、福山市主催の「ふくやま環境大学」卒業生8名も参加しています。設立に向けた取り組みは、福山市公衛協中央ブロックで平成26年4月からスタートし、準備委員会を立ち上げて協議を進め、公衆衛生推進委員へのアンケートや参加メンバーへの所属部会アンケートなどを経て設立に至りました。

また、近年の状況をみると、平成25年度に新築された家の約3割に太陽光発電が設置されています。

陽光発電は急激に増えてきました。平成25年度末までに広島県内に設置された住宅用の太陽光発電は約5万件。普及率は約8%で、戸建の13軒に1軒は、設置していることになります。

再生可能エネルギーは、温室効果ガスである二酸化炭素をほとんど排出しないため、地球温暖化対策に有効な「エネルギー」として、その普及が図られてきました。加えて、平成23年3月に発生した東日本大震災以降は、国のエネルギー政策や地域経済の発展にも寄与する「一力的な資源」としても期待が高まり、今後とも、さらなる普及拡大が望まれています。

今回から、太陽光発電を中心として、再生可能エネルギーの特徴や必要性、県の取り組みを6回シリーズで紹介していきます。

An illustration of a male dentist in a white coat and glasses, holding a dental mirror and probe, examining a patient's mouth. The patient's teeth are shown in a large pink graphic. To the right, the Japanese word '口腔保健' (Oral Health) is written vertically in red and blue. Below the illustration, the text '口腔保健の重要性' (Importance of Oral Health) is written in red.



眞田傳に折れるべく、
とうは、これとは違ひ、
意味合いを想像するこ
ともあるのではないで
しょうか。循環器病害
者の動脈硬化が起きて
いる部分や、非アルコ
ル性脂肪肝炎患者の肝
生検材料から歯周病菌
が検出されたといふ
ような、口腔が災いの主

健康寿命の延伸を目指す

誤嚥性肺炎や入院日数の削減も

サンスター株式会社 医薬品医療機器事業戦略企画部
研究開発室 野添 幹雄

命延伸に向けて、口腔保健の重要性は世界規模で高まると推察されます。



生活の質の向上を目指してしています。政策の動向も重要なですが、身近なところから口腔保健の重要性を一度思い起こしてみると、私事ですが20年以前、祖母が「おじいちゃんは歯を抜いてから」口を悪くして死んでしまった」と語ってくれました。これは単に孫に歯磨きを促すためだけではなく、定期的に歯科医院を受診しなさい語りかけてくれたんだと思います。かかりつけ歯科医師と相談しながら、お口の健康を維持することができる重要な時がになってしまふと思いま